

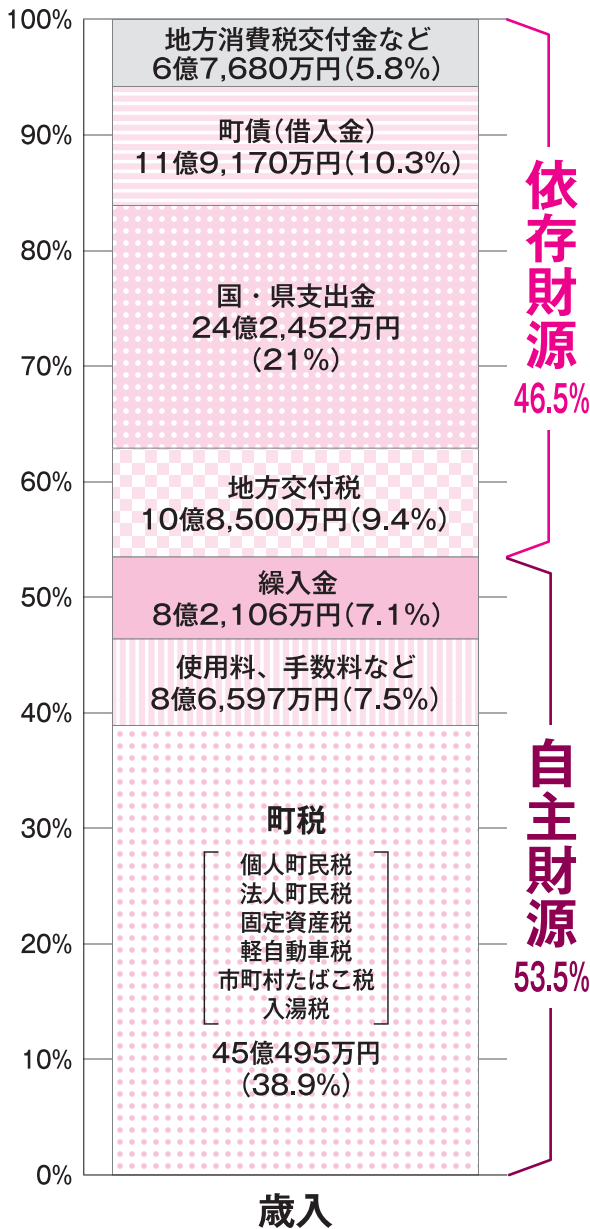
115億7千万円

平成30年度

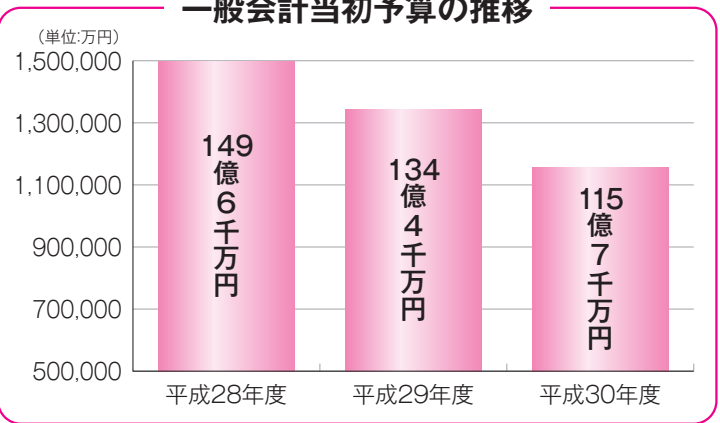
震災からの復旧・再生 さらに発展するまち
「暮らしも心もゆたかになる町、利府町」

予算です

町の各種事業を行うための平成30年度予算が決まりました。予算額は、町長就任間もないことから、政策的事業を除き、前年度と比較し、13・9%（18億7千万円）の減となっています。町では、施政方針に掲げる主要事業のとおり、一日も早い復興を目指し、着実な復興事業の推進をはじめ、文化複合施設整備事業や利府小学校建替え事業、中央公園野球場グラウンド改修事業、少子高齢化に伴う各種事業など、町民のみなさんが生きがいと喜び、心の豊かさや幸せを実感できるような、町の将来を見据えた諸施策の展開に予算の配分を行なっています。



一般会計当初予算の推移



※自主財源とは、町が自主的に調達できる財源のことです。自主財源の割合が高ければ高いほど、国や県に依存しておらず、より自主的で安定した財政運営ができます。平成30年度当初予算における自主財源の割合は、53.5%で、平成29年度当初予算から5.6ポイント下回りました。これは、復興事業の進捗に伴う国庫支出金および震災復興特別交付税が減少したためです。

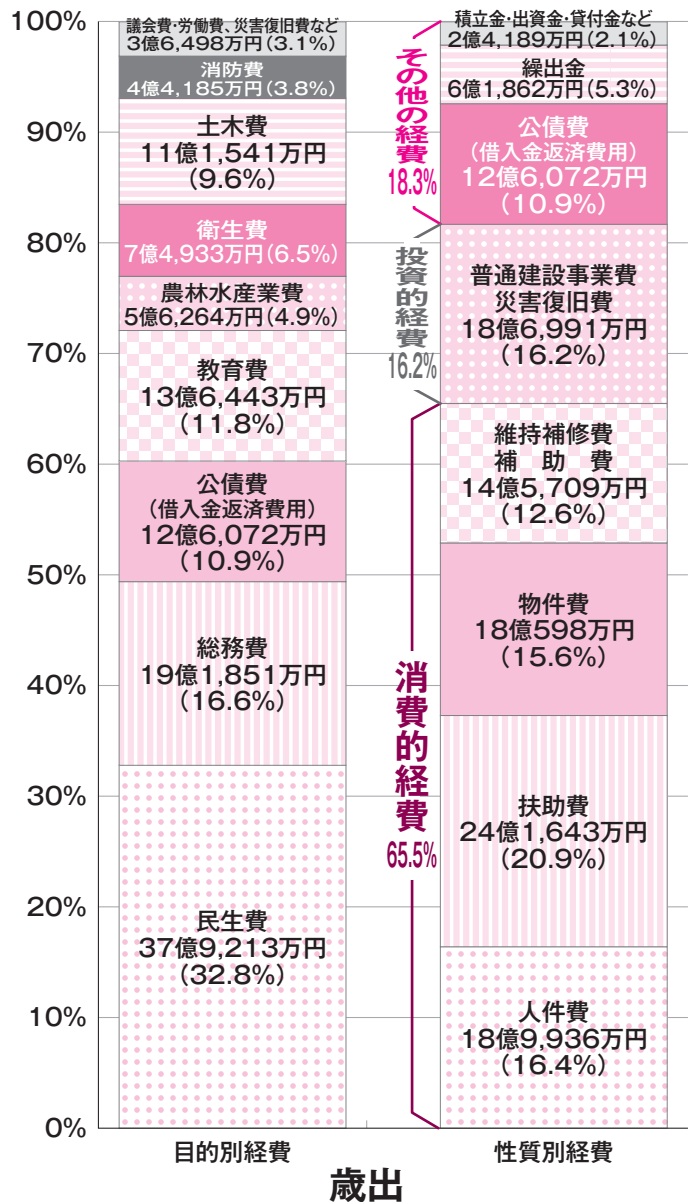
歳入は、3年に1度の評価替えによる固定資産税家屋分および償却資産の減価償却分などにより、町税全体で、前年度から1・0%（4,562万円）の減となっています。

歳入
予算総額は、115億7千万円となり、前年度から13・9%（18億7千万円）の減となっています。その大きな要因は、復興事業の進捗に伴う地方交付税、繰入金金の減のほか、国庫支出金の減少によるものです。国庫支出金は、文化複合施設整備事業に係る交付金や須賀地区水門整備事業補助金の増が見込まれますが、浜田地区防潮堤整備事業の進捗により、8・9%（1億5,995万円）の減を見込んでいます。地方交付税は、復興事業の進捗に伴い、前年度から6・4%（7,477万円）の減を見込んでいます。そのうち、震災復興特別交付税は、9,477万円の減を見込んでいます。繰入金は、復興交付金基金から、9,945万円、財源不足を補うための財政調整基金から6億3,267万円の繰り入れとなり、総額では前年度から68・3%（17億7,040万円）の減となっています。町債は、新太子堂地区都市再生整備計画事業や中央公園野球場グラウンド改修事業により、3・3%（3,770万円）の増となっています。

利府町一般会計 総額

町民一人当たりの行政経費(一般会計)
平成30年2月28日現在人口 36,258人
319,102円

民生費 104,587円	総務費 (復興関連事業含む) 52,913円	公債費 34,771円
教育費 37,631円	農林水産業費 15,518円	衛生費 20,667円
土木費 30,763円	消防費 12,186円	議会費・労働費など 10,066円



歳出

主な事業については、施政方針(3~5ページ)の内容のとおりですが、前年度と比較して増減が大きなものとしては、復興関連経費を含んだ総務費で、文化複合施設整備事業の本格的な着手による増があるものの、須賀地区の避難路である町道須賀中倉線、避難施設および避難場所の完成など、復興事業の進捗により、41.5%(13億5,906万円)の減となりました。

農林水産業費は、復興事業として行なっている浜田地区防潮堤整備事業の進捗などにより、前年度から26.0%(1億9,785万円)の減となっています。

土木費は、中央公園野球場グラウンド改修事業や文化複合施設周辺の道路整備事業などにより、16.1%(1億5,450万円)の増となりました。

教育費は、利府小学校建替え事業の進捗により、前年度から25.0%(4億5,490万円)の減となっています。

今年度も、限られた財源を効率的かつ効果的に活用し、今後の町の将来を見据えながら、町民のみなさんの生活に密着した事業を展開していきます。

特別会計 予算総額 59億7,662万円

会計名	予算額
国民健康保険特別会計	29億5,397万円
介護保険特別会計	19億9,826万円
後期高齢者医療特別会計	2億7,640万円
下水道特別会計	7億3,737万円
町営墓地特別会計	1,062万円

水道事業会計

収益的(収入)	10億4,684万円
〃(支出)	9億2,420万円
資本的(収入)	4億5,255万円
〃(支出)	6億7,997万円

問 財務課 財政経営班
☎767-2198 ☎767-2102